

犬山北小学校保護者の皆様

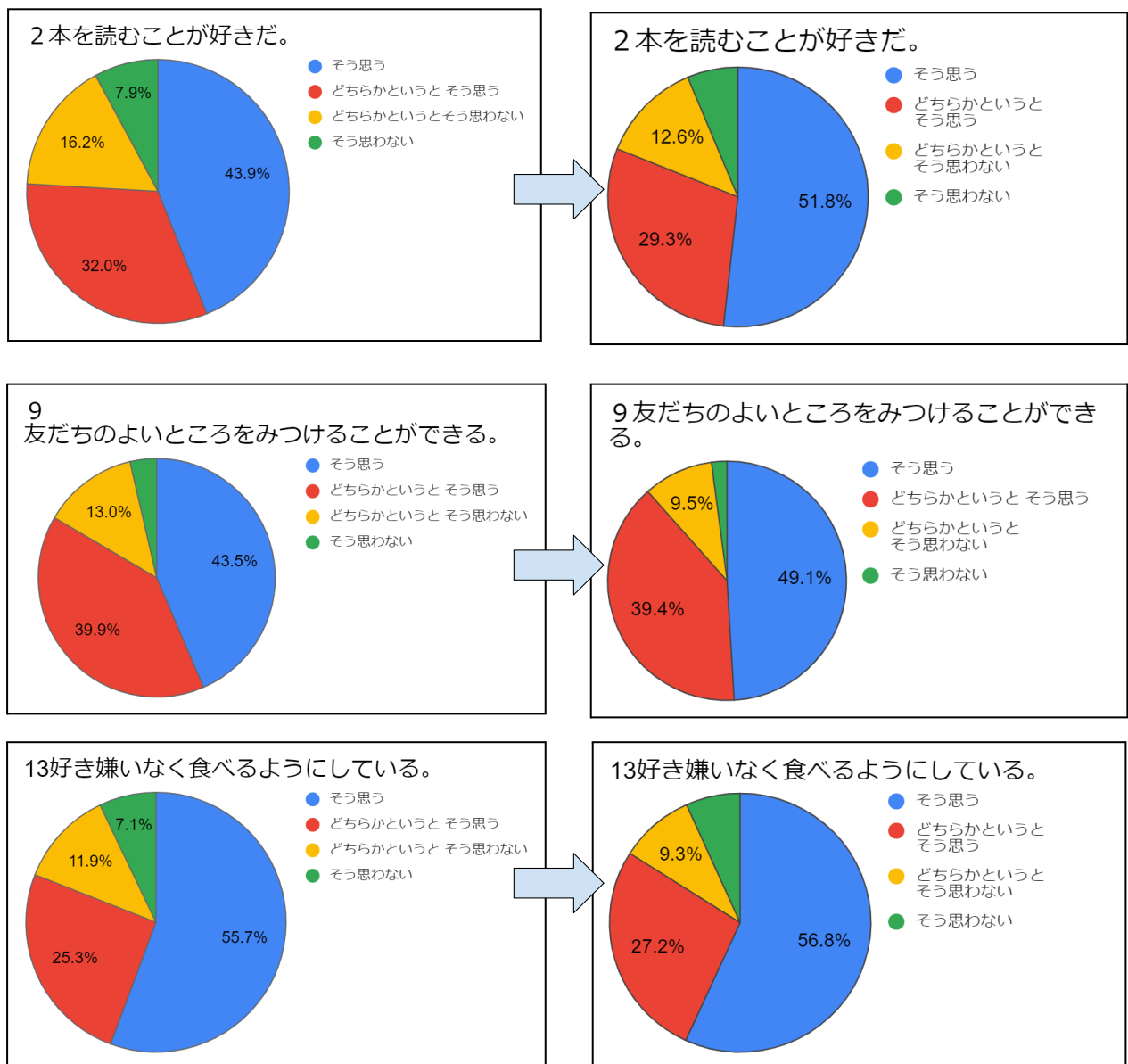
犬山市立犬山北小学校
校長 神谷勝治

令和4年度教育アンケートの結果について

立春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に対して、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、1月に実施いたしました令和4年度教育アンケートの結果をとりまとめましたので、お知らせします。アンケートでいただいた声を真摯に受け止め、子どもたちが意欲的に取り組める授業づくり、心身ともに穏やかに成長できる教育環境づくりを進めて参ります。今後とも保護者の皆様のご支援・ご協力をお願いします。

1 児童アンケートの分析結果（その他のアンケート結果はホームページよりご覧ください。）



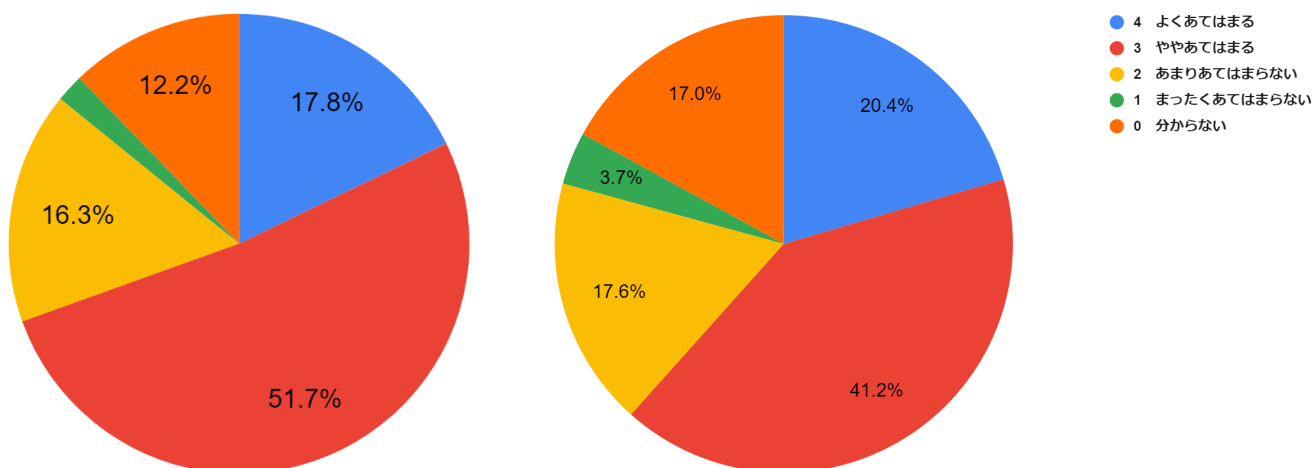
昨年度と比較して、「本を読むことが好き」「友達のよいところを見つけることができる」「好き嫌いをなく食べるようにしている」という項目の肯定的な数値が上昇しました。年2回の図書委員会による読書週間の取組や、さくらお話し会、わかばの読み聞かせなど、本に親しむ雰囲気作りが児童により影響を与えています。来年度もこれらの取組を継続していきます。

給食では、残食量や牛乳の飲み残しが昨年度よりも減少しており、好き嫌いをなく食べようとする児童の意識の高まりを感じます。

また、今年度から本校では人権教育に重点をおいています。今後も友達のよいところを見つけ、そしてそれを互いに伝え合えるような雰囲気作りを目指します。

2 保護者アンケートの分析結果（その他のアンケート結果はホームページよりご覧ください。）

項目7 「子どもたちがあいさつできるように働きかけていると思いますか」

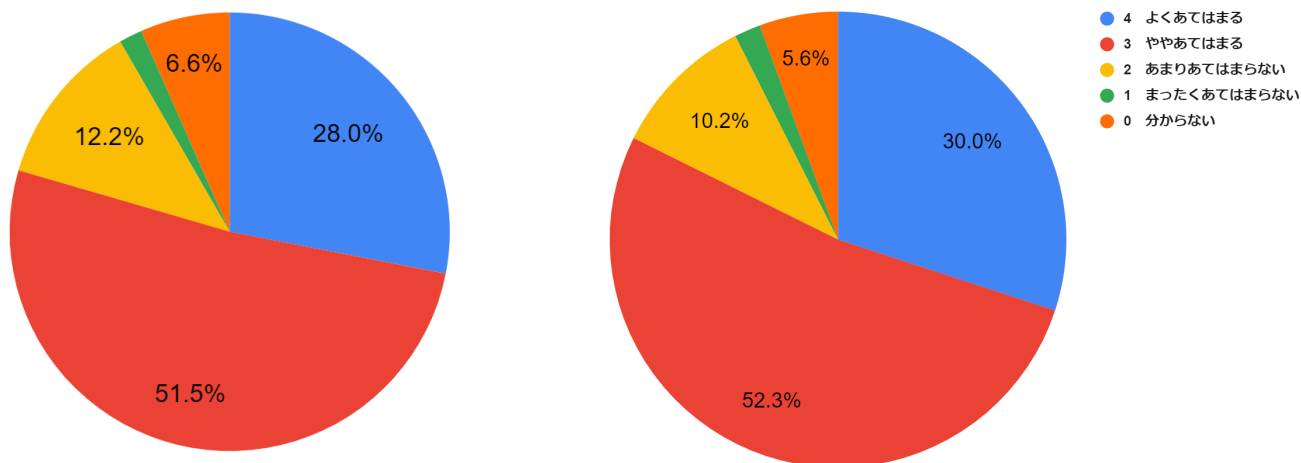


R3

R4

子どもたちの挨拶について、登校中の児童に挨拶をしても反応がないというご意見をいただきました。コロナ禍で大きな声を出さない生活が数年続き、子どもたちの挨拶の声が小さかったり、反応が薄くなったりしているのは私たちも感じています。現在、児童会による挨拶の啓発活動を始めています。引き続き、生活委員会による校内での挨拶運動を展開するとともに、地域の方や保護者の方にも気持ちのよい挨拶ができることを目指します。

項目8 「情報端末などICTを使った新しい教育活動に努めていると思いますか」



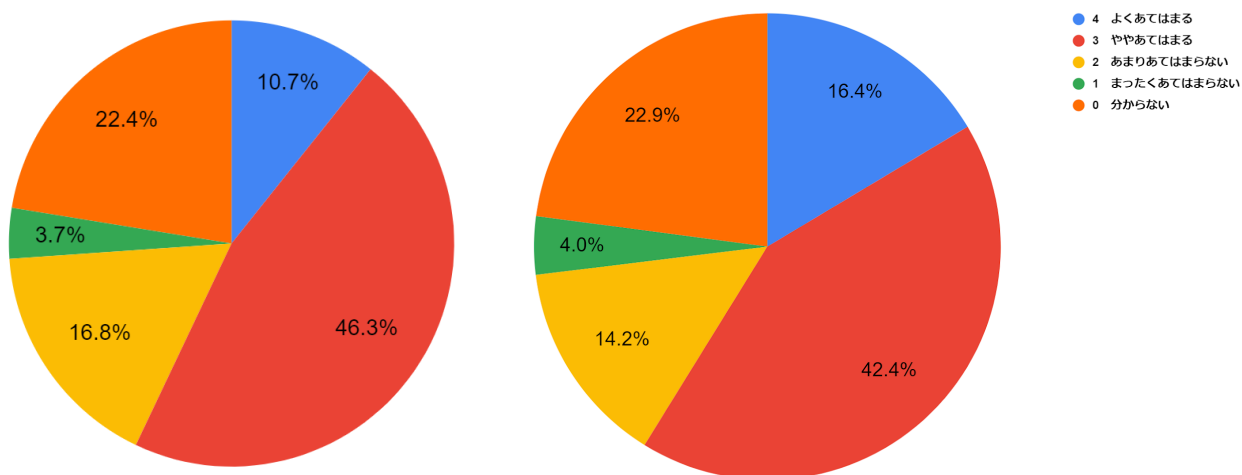
R3

R4

多くの肯定的な回答をいただきました。GIGAスクール構想によって児童一人一台の情報端末の貸与が始まり、2年目となりました。大型モニターを用いた授業は全学級で毎日行っており、情報端末を用いた授業も積極的に行っています。また、長期欠席者には、オンラインを通しての授業配信も行っています。今後もより効果的な使い方を模索していきます。

夏休みなどの長期休業中は、児童が自分で興味がある内容を調べたり、eライブラリで復習をしたりするために情報端末を持ち帰っています。自分で進んで学習できるよう、ご家庭でもお声かけいただければ幸いです。

項目10「いじめのない学校・学級・集団づくりに努めていると思いますか」



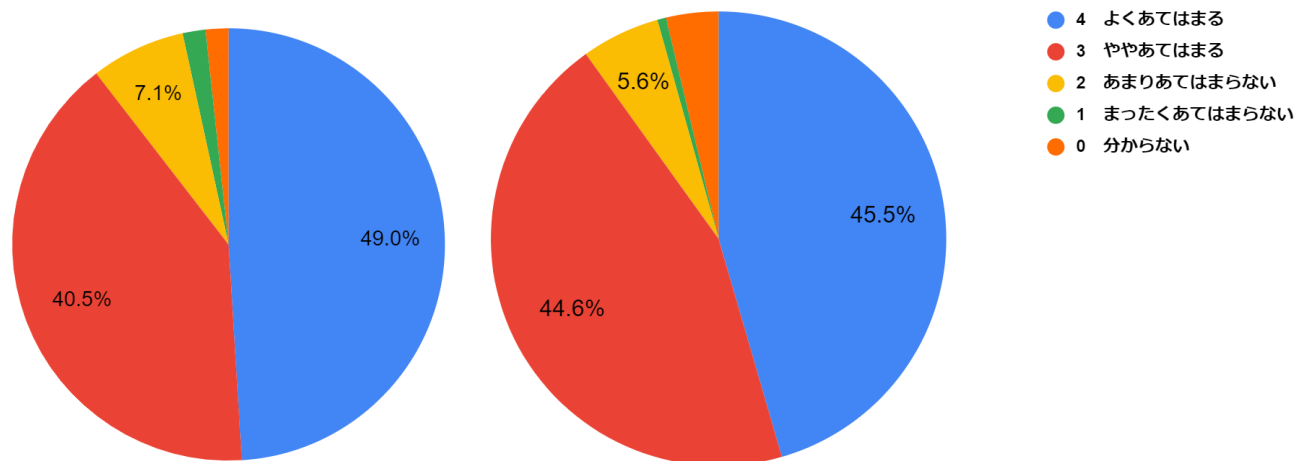
R3

R4

昨年度同様、他の項目に比べて低い結果でした。本年度は4月に全校一斉に「学級であふれさせたい言葉」と「なくしたい言葉」について考える授業を行い、児童から出た意見を常時掲示しました。この取組は来年度も継続していきます。

いただいたご意見には、子どもの言葉遣いが悪くなっている、先生の言葉遣いも気をつけてほしいというものがありました。いただいたご意見を全職員で共有し、来年度の人権教育をより充実させてまいります。また、いじめは起こり得るものという捉えで、早期発見・対応に努めていくことも確認しました。お子様が安心して通えるような学校づくりに努めてまいります。

項目11「積極的に情報発信をしていると思いますか」



R3

R4

多くの肯定的な回答をいただきました。ホームページの更新について、今後も毎日記事を掲載するようにし、学校からの情報発信を積極的に行っていきます。一方、日々の更新数の割に保護者の皆様の満足度が低いようにも感じています。保護者がどのような記事を掲載してほしいのかというご要望を、PTA役員などから収集しながら探っていきます。また、1月からtotoru（保護者連絡アプリ）を導入しました。欠席連絡の利便性を高めるだけでなく、情報発信のデジタル化に活用してまいります。

3 アンケートに寄せられたご意見の紹介

- コロナもあり、学校との接点が少ない中、ホームページからの情報はとても重要です。北小のホームページはとても見やすく、書いている方の温かい眼差しが感じられて読んでいて嬉しくなります。授業以外のことも細かく色々載せて下さり、学校がより身近に感じられ、子どもとの話題も増えます。
- 今年は楽しく学校に行けているし、担任の先生も子供のことをよく見てくれているのがわかるが、去年は休みたいとよく言っていた。子供も自分たちを尊重してくれる人かどうかをよく見ていると思う。
- ホームページの有効活用するためのスキルを是非市内の小中学校で共有してほしいと思います。また、目安箱の取り組みは、学校が保護者や地域の意見を積極的に取り入れようという姿勢の表れとして素晴らしいものだと思います。更にその意見に対しても真摯に回答して下さり、前向きにいろいろなことに取り組んでくださることに感謝しています。

4 アンケートに寄せられたご質問・ご意見についての回答

※今回載せきれなかったご意見は、目安箱で改めて回答します。

- 学年通信のプリントが欲しい、手元にプリントを保管したいスマホだとすぐ確認したり記入できないので不便
→1月からは学年通信をtotoru(保護者連絡アプリ)で配信することにしました。資源保護の観点と業務精選を目的としています。重大案件は今までのように紙媒体でも配付します。もう少しこの方法で継続させていただきたいと思います。またご意見を承ります。
- ホームページは見ない。メールで情報共有がありがたいです。
→totoru（保護者連絡アプリ）は緊急時の活用を原則としています。緊急案件とお知らせを混在させないためです。より見やすい紙面の構成・発信に努めますので、ぜひホームページを活用していただけると幸いです。
- 子どもが男の子ですし、あまり学校の様子は、わかりません。コロナ前にあった「まち探検のサポート」などで親が学校に参加する機会が欲しいです。
→コロナ禍でできなかった学校公開を少しずつ再開しているところです。今年度2年生のまち探検において、保護者の方にご協力いただきました。今後、感染状況が落ち着き、他の学年の校外学習も増やせると考えています。
- 地域のお店などに関わる活動を増やして欲しいと思っている。北地区だけでなく、犬山全体に興味をもつように茶摘みや羽黒の古墳、栗栖の遺跡発掘など犬山の魅力に触れるような活動を増やして欲しい。外部講師をよんでの哲学対話体験や、性教育講座などもやってほしい。
→本校は校区に公共施設・商業施設を多く抱える非常に恵まれた立地条件を活かし、生活科や総合的な学習で体験的な学習を行うことができます。
今年度は、3年生の学習で城東地区の日比野製茶、4年生が池野地区の入鹿池を取り上げました。移動時間・カリキュラム全体のバランスを確認しながら、犬山市内全体に目を向けることができるよう、地域の施設設備・教育力を積極的に活用していきます。令和5年度は地域との連携を強めるための地域学校協働本部も設置し、これらの地域の教育力をより活用できるようにしたいと考えています。